

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
平成23年度第2回理事会 議事録

【開催日時】平成23年4月20日 午後1時から午後3時まで

【開催場所】日本整形外科学会4F会議室 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル

【出席した理事】加藤真介、加藤義治、川上紀明、川上 守、佐藤栄修、高橋和久、田口敏彦、
千葉一裕、出沢 明、徳橋泰明、中村博亮、富士武史、星野雄一、山下敏彦、
米 和徳、米延策雄アドバイザー

【出席した監事】佐藤哲朗、里見和彦

【欠席した理事】菊地臣一

【議事の経過の要領及びその結果】

副理事長 高橋和久は、東日本大震災に鑑み、理事長代行として議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

1 第1号議案 平成23年度事業計画承認の件

千葉一裕理事は、資料1に基づき平成23年度事業計画について、震災の影響による第40回日本脊椎脊髄病学会学術集会の開催形式変更や第9回脊椎脊髄病研修コースの変更などをはじめとする案を詳細に説明し、これを議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

2 第2号議案 平成23年度収支予算承認の件

徳橋泰明理事は、資料2に基づき平成23年度収支予算について、会費値上げによる収入増、震災による学術集会開催形式変更に伴う予備費計上などの案を詳細に説明し、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致で、これを承認可決した。

3 第3号議案 平成23年度指導医資格認定会告承認の件

山下敏彦理事は、資料3として平成23年度指導医資格認定会告案を提示し、詳細な説明の下、これを議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致で、これを承認可決した。

審議・報告事項

4 第40回日本脊椎脊髄病学会学術集会の開催に関する報告の件

野原裕会長代理種市洋先生は、資料4に基づいて、詳細な報告を行った。主たる内容は開催形式をweb開催に変更すること、参加登録料の減免、参加証の発行、収支予算の見直しならびに余剰金は義援金とすることなどである。なお当初予定されていた40周年記念誌の作成は見送ることもあわせて報告があった。

5 第24回学会奨励賞（大正富山 Award）募集案内に関する報告の件

野原裕委員長代理千葉一裕理事は、資料5に基づき、第24回の募集を行うこと、第40回日本脊椎脊髄病学会についても参加登録を行った演題は有効となる旨の報告を行った。

6 専門医制度規約案検討の件

中村博亮理事は、資料6に基づき、専門医制度試案に関する詳細な説明を行った。なお、同理事より、定款上で「専門医」の位置づけを明確化するかについては定款等検討委員会、単位認定のシステム作りについては教育研修委員会にそれぞれ検討を依頼したい旨の発言があり、これについてその他の理事は特段の異議を申し立てなかった。また、本制度施行の

目的である専門医制度認定機構への加盟にふさわしい制度とすべく、メール審議等を含めて、継続審議とすることとなった。

7 非会員主演者の取り扱いに関する報告の件

佐藤栄修理事は、入会義務のある非会員主演者が入会手続きを怠った場合の対応に関するメンバーシップコンプライアンス委員会の審議結果として、学会長に判断を委ねる旨の報告を行った。

8 X-STOP 使用ガイドンスのホームページアップの件

加藤真介理事は、平成 22 年に作成したガイドンスをHPにアップを予定している旨の報告を行った。これに対し、他の理事から特段の異議申立はなかった。

9 保険未承認製品に対する学会としての対応に関する件

川上紀明理事は、保険未承認製品や自由診療によるトラブル多発に関する報告を行った。参加した役員から慎重に対応すべきである旨の発言があった。

10 各種委員会報告

a. 安全医療推進委員会

田口敏彦理事は、資料 7 に基づき、手術合併症調査計画について詳細な報告を行った上で、今年度調査を行いたい旨を申し出た。佐藤監事から、被災地東北においても今年度の調査が可能であるとの見解が示された。その他の理事から個人情報保護の観点から倫理審査を踏まえて実施すべきとの発言があった。

b. 教育研修委員会

米和徳理事は、資料 8 に基づき、第 9 回脊椎髄病研修コースは震災の影響により延期ならびに開催地の変更を行って実施する旨の報告を行った。

c. 国際委員会

富士武史理事は、資料 9 に基づき、学術集会への外国人参加者増を図る目的で、抄録号には英文サマリーを加筆する旨の提案を行った。各理事より、具体的な文字数などを検討すべきとの発言があった。

d. 社会保険等システム検討委員会

川上紀明理事は、資料 10 に基づき、外保連への新年度要望項目について報告を行った。また、学会ホームページ上で社会保険目安箱の運用が始まったことも併せて報告した。

e. 診断評価等基準委員会

川上守理事は、資料 11 に基づき、JOABPEQ・CMEQ を用いた研究計画と予算に関する詳細な説明を行った。経費は、企業寄付と日整会への申請により賄われるが、腰椎 2 件、頸椎 1 件の多施設研究では新たな予算確保が必要であること、また研究協力者へのインセンティブとして指導医制度委員会に優遇措置の検討を依頼し、担当理事の了承を得た。

f. 診療ガイドライン委員会

佐藤栄修理事は、腰部脊柱管狭窄症ガイドラインの進捗状況に関する報告を行った。

g. 新技術評価検証委員会

加藤真介理事は、IVR学会と合同で行うPVP懇話会が新作により延期された旨の報告を行った。

h. プロジェクト委員会

高橋和久副理事長は、資料 12 に基づき、モニタリングのハンズ・オン・セミナー新企画に関する説明を行った。これに対し他の理事から特段の異論は出なかった。

i. 将来構想ワーキンググループ

千葉一裕理事は、雑誌の電子ジャーナル化に関する検討経過について報告し、続いて京葉コンピューターサービス(KCS)がプレゼンテーションを行った。参加した理事

から慎重に検討すべきとの意見が出され、継続審議となった。

11. 平成 22 年度日本医学会新規加盟に関する報告の件

千葉一裕理事は、資料 13 に基づき、平成 22 年度の選考結果について、本会の加盟は見送られた旨の報告を行った。

12. Spine Across the Sea 2012 日本側委員に関する報告の件

千葉一裕理事は、資料 14 に基づき、Spine Across the Sea 2012 日本側委員を決定した旨の報告を行った。

13. 外保連平成 23 年度分担金納入に関する報告の件

千葉一裕理事は、資料 15 に基づき、平成 23 年度外保連分担金を納入する旨の報告を行った。

14. 脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率に関する調査結果に関する報告の件

高橋副理事長は、第 40 回日本脊椎脊髄病学会学術集会で発表予定であった標題の報告が、平成 23 年 7 月 24 日に大阪で行われる旨の報告を行った。

15. 今後の理事会開催予定修正に関する報告の件

千葉一裕理事は、震災に伴い今年度の理事会開催が以下の通り変更された旨の報告を行った。

第 1 回 3/25 (金) 書面決議

第 2 回 4/20 (水) 13:00-15:00

東京: JOA 会議室

第 3 回 7/14 (木) ランチタイム

京都: JOA 骨軟部

第 4 回 10/20 (木) ランチタイム

前橋: JOA 基礎

第 5 回 1/20 (金) 専門医試験終了後

東京: JOA 専門医試験

24 年度第 1 回 3/16 (金) 東京: JOA 会議室 15:00-17:00

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 23 年 4 月 20 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 副理事長 高橋 和 久

監 事 佐藤 哲 朗

監 事 里見 和 彦